

写真アルバムから

シリーズC 寺社華風月 (白黒)

C5 散見 1974

森隆一



(Wikipedia 平安神宮より)

C5. 散見 1974

揖斐川 1974



前頁の2枚の写真は名神高速バスから撮ったもので、揖斐川辺りから北側を撮ったものと考えている。

上の写真は、スキャンしたものをトリミングしたもので、下は、さらにFire Alpakaでトーン・カーブ補正を行ったものである。

上賀茂 1974



上賀茂神社の競馬に、流し撮りの練習と思って、出かけた。これは難しいことと、行事の進行が頭に入らないこと、さらには、人が多く位置取り

もままならないこともあり、行事の写真は対象から外すこととした。

当時、上賀茂神社は数系統のバスの終点であり、鳥居前がバス・プールとなっていた。また、1つ前のバス停賀茂川中学前から、産大の職員バスが出ていた。講義のない日にこの周辺で写真を撮った。真如堂・光明寺の写真よりは少しは進歩しているのではないか。



上の左の写真は上賀茂神社の境内で、サークルのミーティングをしていると思われる。右は御園橋を下流左岸から撮ったものである。

次の犬の写真はトリミングのし過ぎと思う。ベタ焼きではもう少し広い範囲が写っている。散歩中の犬は、ポートレートの写真ではなく、散歩の雰囲気をもつ者のほうが良いと考えるようになった。

恐怖感のない犬(猫)は、3m程度で暫くとどまり、カメラを向けると数秒程度はカメラ(レンズ)を中止する。この時は、こういう計算が出来ていなかったもので、カメラを向けたら、こちらを向いたので、慌ててシャッターを押した記憶がある。



花 1974

次の写真は、下宿の空き地(整えれば坪庭)に咲いていた雑草である。花(植物)の写真を撮ってみようと思っていたが、白黒での成果が見通せず、躊躇していた。ということで、とりあえず、撮ってみた。

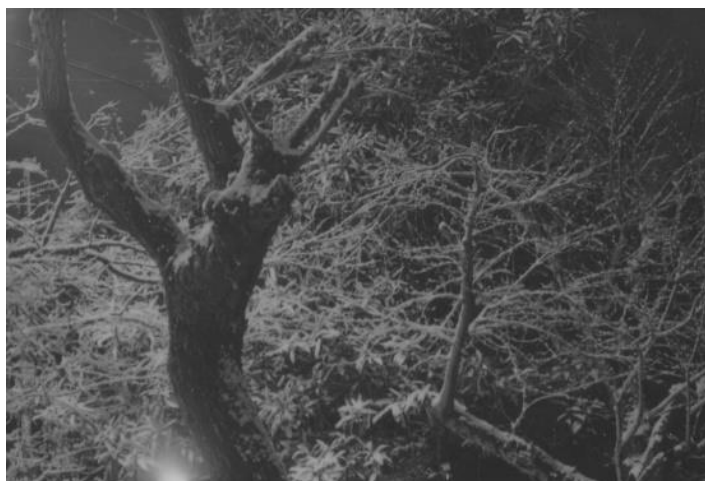
躊躇の理由は、花の写真は、ピントと構図がマッチしなければ写真には

ならないことである。実際、風が吹くと、屋外での花の写真を撮ることは、殆ど不可能である。さらに、このような写真になると、両者に関係するが、適切なレンズ選びも重要になってくる。



雪 1974

次は、雪が降ったので、銀閣寺の参道に近い疎水で撮った写真である。



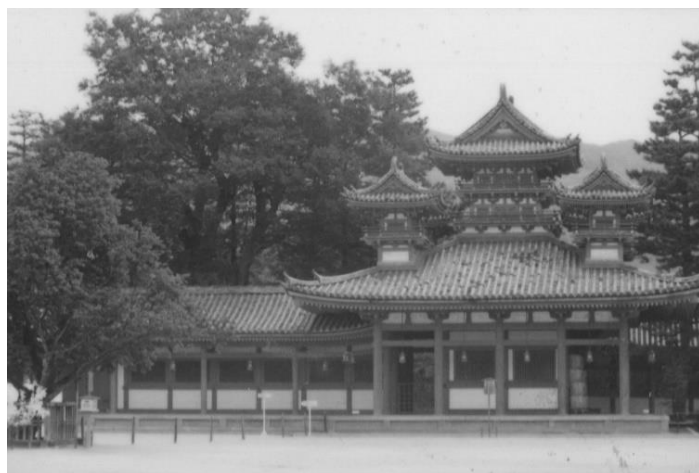
夜景 1974

次の写真は、上の雪の写真を撮った場所とほぼ同じところで撮ったものである。



平安神宮 1974

人を避けて撮ったのと、恐らく、85mm レンズで撮ったことにより、部分的なものとなった。



左が白虎楼、右が蒼龍楼である。



上の写真の左は大極殿(外拝殿)より右手を撮ったもので、右は応天門である。

次の写真は、応天門の外より、大鳥居を撮ったものである。この神宮道は眺めの良い通りの一つで、烏丸通の東本願寺前辺りも挙げられる。この要因の一つとして、電柱が無いことが挙げられる。最近では、東大路の百万遍から熊野神社までも挙げられ、欧州の街のような印象を受ける。



ここで、各建物の名前が他の神社とは異なっている。これに関して、Wikipedia「平安神宮」では次の由来が書かれている。

社殿は平安京の朝堂院を長さ比で約8分の5で復元したものである。正面の門は、朝堂院の応天門を模している。その内側の左右の殿舎は朝集堂の再現である。外拝殿は朝堂院の正殿である大極殿(左右には蒼龍楼と白虎楼が付属する)を模している。

あとがき

ここでは、1974年以前に撮影した寺社を取り上げた。白黒写真を始めてから1年程度で、写真を撮ることと現像処理共に経験がなく、本稿で乗せられるレベルの写真の少ない寺社である。

最初に掲げた揖斐川の写真で、初めて、濃淡の補正を行った。2枚のうちどちらが実際の風景に近いかは、今となっては、半代位することはできない。写真をよくする手段として面白いと考えるが、処理に時間がかかることと、目に相当な負担がかかる。

画像処理ソフトを使用したのは補正の為ではなく、画像に関しては、回転をしたかったことである。手持ちで撮影するとき、水平線の維持は難しい。引き延ばしでは印画紙を移動することにより簡単にできたことである。もう一つは図に文字を書き込むことである。Windows 付属のペイントでも可能であるが、これは後で、変更することが容易ではない。そこでレイヤー処理が可能な画像処理ソフトを求めた。有名なソフトとしては Adobe の Photo Shop があるが、これは高額であることと、ライセンスが買い取り制をやめ、年間の使用料を形式に替わったことで、他に探しているうちに、Fire Applica に行き着いた。これでも筆者にはオーバー・スペックであるが、無料で使えることもあり、用いている。

ということで、デジタル写真では、画像処理ソフトを用いて、色々な補正が容易にできるようになった。白黒写真では濃淡の補正が有効である。DPEでは、蓋い焼という手法しかなかったが、これはかなりのテクニックを要した。

補正の必要のない写真を撮ることが理想であるが、それが可能なのは、照明までコントロールできるスタジオ写真のみと考えている。

フィルム時代の補正(修正)は職人的な技といった感じであったが、デジタル写真では手軽にできるようになった。自動保存が無効ならば、修正作業の後、失敗作は保存せず終了すればよいので気楽に実行できる。早い段階でファイル名を変えて保存すれば、失敗作の保存もできる。

京都の寺社ランキングを写してみた。

旅 Pocket 「[京都の神社・仏閣、おすすめ人気ランキング10](#)」では

- | | | | | |
|---------|--------|--------|----------|----------|
| 1. 伏見稲荷 | 2. 金閣寺 | 3. 銀閣寺 | 4. 三十三間堂 | 5. 清水寺 |
| 6. 貴船神社 | 7. 平等院 | 8. 天龍寺 | 9. 八坂神社 | 10. 下鴨神社 |

4travel.jp 「[京都の寺・神社 ランキング](#)」では

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 清水寺 | 2. 伏見稲荷 | 3. 金閣寺 | 4. 平等院 | 5. 八坂神社 |
| 6. 南禅寺 | 7. 東寺 | 8. 天龍寺 | 9. 平安神宮 | 10. 東福寺 |
| 11. 銀閣寺 | 12. 下鴨神社 | 13. 北野神社 | 14. 高台寺 | 15. 三十三間堂 |

16. 永観堂 17. 建仁寺 18. 仁和寺 19. 龍安寺 10. 知恩院
21. 西本願寺 22. 貴船神社 23. 八坂の塔 24. 東本願寺 25. 上賀茂神社
26. 三千院 27. 野宮神社 28. 錦天満宮 29. 鞍馬寺 30. 醍醐寺

となっている。この他に、皇室関係では、御所・桂離宮・修学院離宮があり、表にない寺社は次が挙げられる。

真如堂・黒谷光明寺・青蓮院・妙心寺・大徳寺・大覚寺・広隆寺・泉涌寺・東福寺・高山寺・神護寺・萬福寺・興聖寺・粟生光明寺・善峯寺

石仏に目がいかなければ、上記寺社を訪ね歩いていたはずである。さらに、大阪の寺社も考えたはずであるが、大阪の興味ある寺院は、名古屋と同様に中心部には少なく、和泉に多い。和泉は、日帰りはかなりタイトになるのでどうであったかわからない。